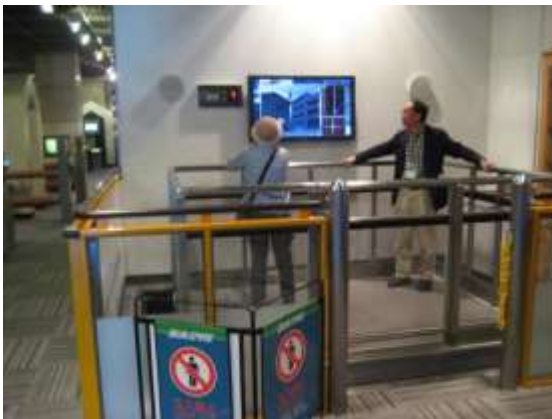


《地球環境に学ぶ》サークル主催 の環境関連施設見学バスツアー

10月8日（水）台風18号が2日前に過ぎ去った秋晴れの朝、男性12名、女性11名、計23名が所沢市の高齢者福祉バスに乗車して、鴻巣市、行田市、桶川市の埼玉県各種施設に向かいました。

（1）埼玉県防災学習センター 鴻巣市

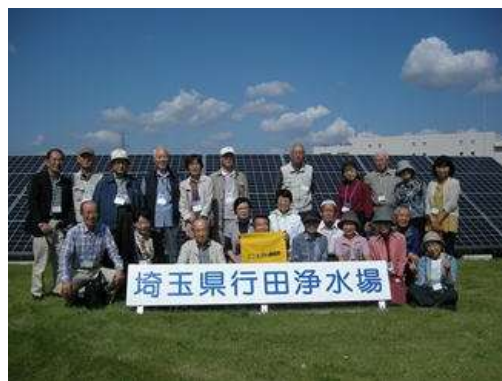
ここでは、震度7の揺れや、建物火災時の煙退避訓練、秒速30mの暴風を体験し、消火器を持ってバーチャル火災の模擬消火も行いました。みなさん、真剣に且つ楽しそうに参加していました。



(2) 行田浄水場 行田市

この浄水場では、利根川の水を取り込んで浄化した水道水を県中央、北、北東部の広範囲に供給しています。埼玉県には他に 4 つの浄水場があり、所沢市には荒川から取水しているさいたま市の「大久保浄水場」から供給されています。

この浄水場の広い浄水池（地下式）の地上部を利用して 5,040 枚の太陽光パネルが設置され、1.2 メガ wh の発電能力で年間累計 160 万 kwh 強の電力が得られ全量所内用に使用されています。



(3) 埼玉県環境科学国際センター 加須市

ここそわが「地球環境に学ぶサークル」の本命施設です。「環境学習」のために設けられた体感型展示を見学しました。



(4) ソーラーオンザウォーター桶川 桶川市

日本初の水上太陽光発電所です。フランス製でプラスチックフロート架台の上に太陽光パネルをセットしたユニットが調整池に 4,536 台並んでいて、1.2 メガ wh の発電能力があります。調整池を活用するよいアイデアですが所沢市北野の「メガソーラー所沢」もゴミの最終処分場の有効活用です



ここを最後にバスは帰路につき、車中では差し入れのお菓子をほおぼったり、楽しく会話してあっという間に所沢に到着。予定より 30~40 分早い解散となりました。

(中原 幹男)